

# 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	環境・エネルギー学校派遣事業 ～かながわ環境教室～			
題名・副題	人工の雲を作ろう			
月日・時間	10月28日(月) 10:45~12:15、13:45~15:15 (4年生2クラス)			
開催場所	海老名市立柏ヶ谷小学校			
部会・講師名	大気・水環境部会 柳川三郎	参加数	77名	講師数 7名
写真				
	人間が生きるために大切な「水」のクイズ		「水」は地球上のどこにある?クイズ	
				
	空気砲の発射を体験		ペットボトルの中に人工の雲ができた	
成果解説	<p>この教室は、身近にある「水」、生物が生きるための水の重要性や地球上の水循環などについて実験を通して理解を深めるもの。</p> <p>授業は次の7テーマを行いました。①人間が生きていくために大切な「水」をクイズで学ぶ、②「水」のあるところはどこだろうクイズ、③地球表面の海の面積比率をアースボールで求める、④空気砲の実験で気体とは何かを体験しました。休憩の後、⑤水の性質である表面張力の実験、⑥地球の水循環における雲の役割と雲の発生原理を説明、⑦メインテーマ「人工の雲を作る実験」では、子どもたちが持参したペットボトルと学校備品の雲発生装置「シュボシュボくん」(※)を使って、ペットボトルやガラス瓶の中に雲を作る実験を行いました。子どもたちはそれぞれ実験などに対して真剣に取り組み、体験を楽しみながら「水」環境について学びました。</p> <p>(※)「シュボシュボくん」：ポンプとガラス瓶からなる雲発生器、上部のポンプで瓶に圧力をかけ、ロックをはずすことで簡単に雲の発生を観察ができる。ガラス瓶内部に簡易温度計があり圧力をかけると温度上昇、圧力を下げると温度低下し、その瞬間に「雲」の発生が観測できる。</p>			